

常呂川の濁水に関する流域対策検討会に  
向けた農林業側の提案

融雪や豪雨により農地や林地の表面水や土砂が下流域への被害を及ぼしていることから、農業者、森林所有者及び関係団体に、流域内での保全対策の必要性を説明するとともに、環境への意識向上を図り、営農や森林施業を通じた取り組みを促していく。

①普及・啓発用資料作成

農地からの土砂流亡の要因と予防対策の事例を紹介。

※ 網走支庁では、H15～17に河岸段丘斜面林の保全対策を進めるためにパンフレット、事例集を作成し配布した経過があり、これを参考資料として提示する。

②農業者、森林所有者及び関係団体への普及・啓発活動

作成した資料を地域農業者、森林所有者及び関係団体へ配布するとともに、会議や懇談会を通じて内容の説明を行う。

③農業農村整備事業、造林事業による対応

営農などからできる浸食・崩壊の予防対策の内、地域で事業対応の要望があった場合には要件等の説明を行い、取り組みを推進していく。また、造林公共事業等を活用し、植林や間伐など森林整備の取り組みについても推進していく。

④農地・水・環境保全向上対策の活用

活動項目の中から以下の項目が土砂流亡対策として期待でき、各地域の活動組織へ次年度からの活動を奨励する。

活用可能な活動項目

農用地：農用地法面の初期補修、暗渠施設の清掃、異常気象後の応急措置、融雪排水促進のための溝切り等

開水路：水路の泥上げ、水路法面の初期補修、異常気象後の応急措置

農道：砂利の補充、側溝の泥上げ、路肩・法面の初期補修、異常気象後の応急措置

水質保全：排水路沿いの林地帯等の適正管理、沈砂地の適正管理、土壌流出防止のためのグリーンベルト等の適正管理、水質モニタリングの実施・記録管理